

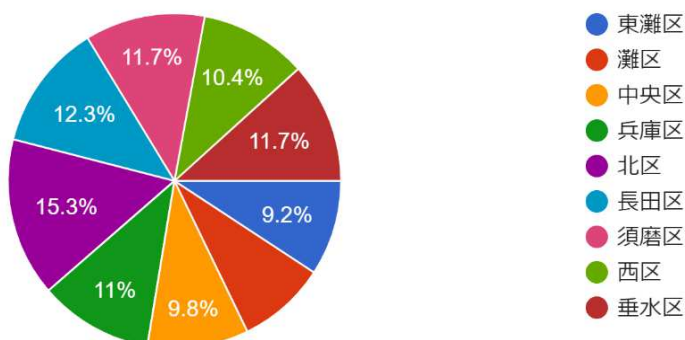
訪問介護事業所の 新型コロナウイルス対策 緊急アンケート集計

神戸市シルバーサービス事業者連絡会 訪問介護分科会

- 調査対象 : 神戸市内指定訪問介護事業所 570ヶ所
- 調査方法 : アンケート用紙を対象事業所へ郵送。FAX又はインターネットで回答
- 調査期間 : 2021（令和3）年10月1日～10月15日
- 回答数 : 183件

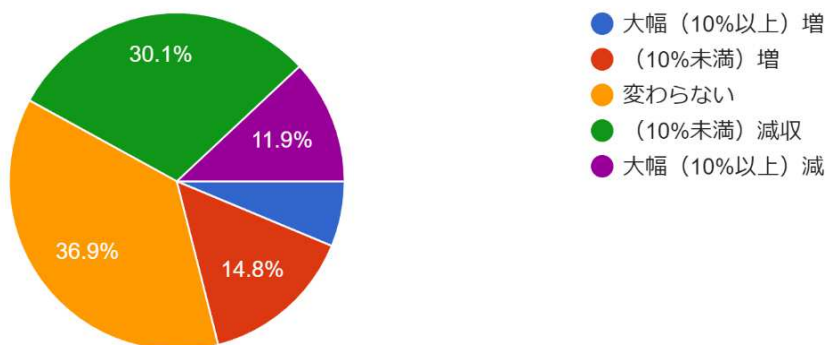
1. あなたの事業所についてお尋ねします。サービス提供実施地域は？

163 件の回答



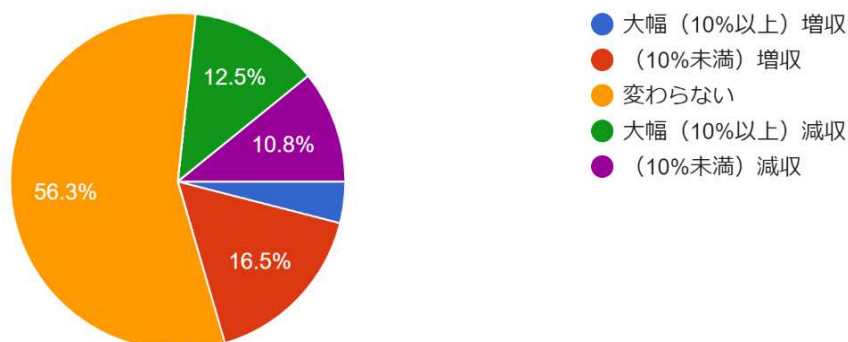
2-1. 本年9月と昨年の9月の利用者数について教えてください。

176 件の回答

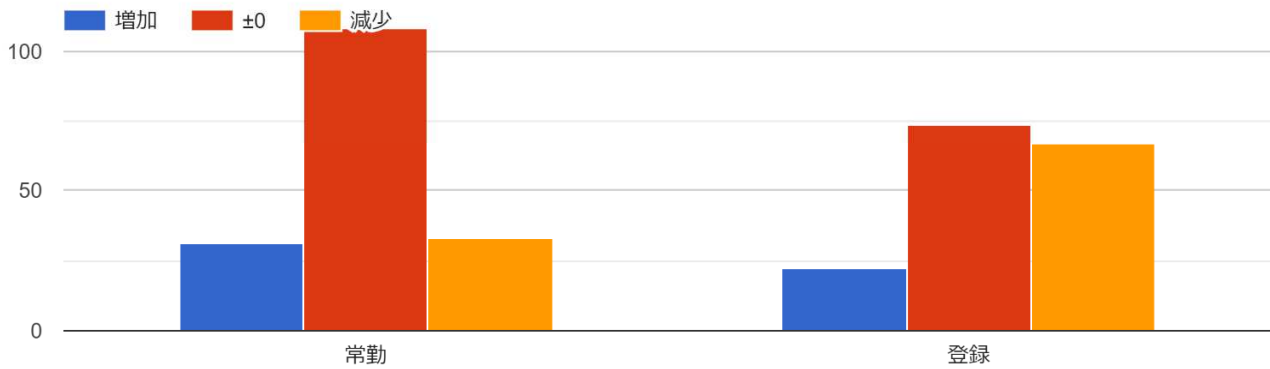


2-2. この4月の介護報酬改定で売上はどのように変わりましたか？

176 件の回答

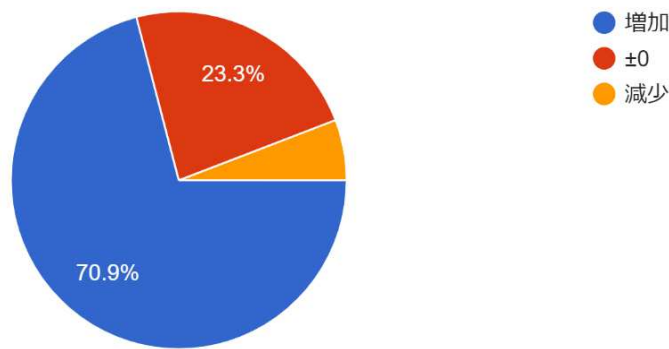


2-3.2-1. 本年9月と昨年の9月の訪問介護員数について教えてください。

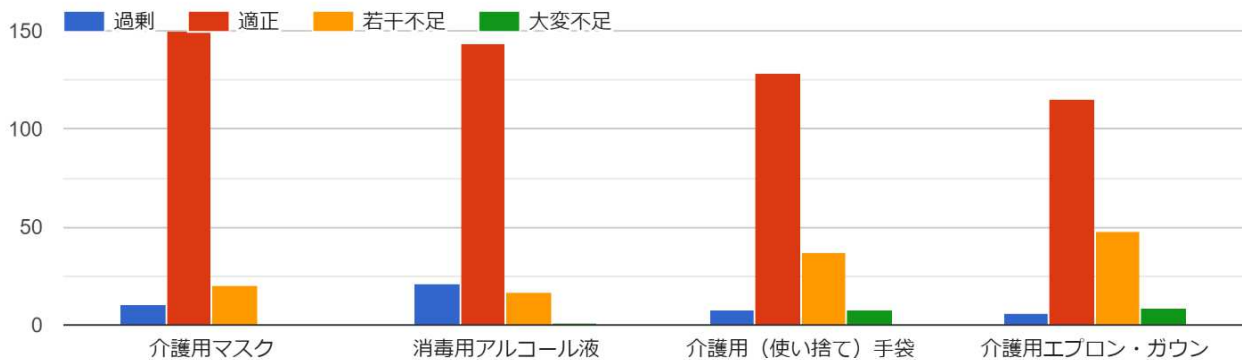


3. 昨年と比べて衛生用品に関する支出はいかがですか？

172件の回答



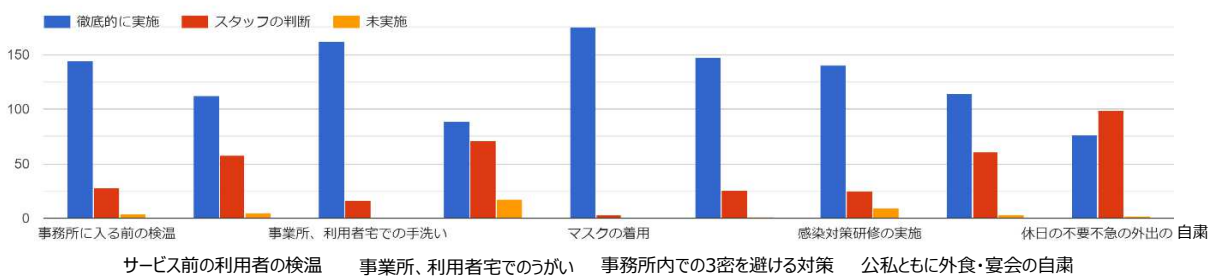
4. 現在の衛生用品の在庫状況を教えてください。



4-2. その他、衛生用品について不足している物品はありますか？

- イソジン等のうがい薬
- 消毒アルコール液の本体
- エプロン・ガウン
- せっけん類
- 不足はないが、高値である為、経費がかかる
- 使い捨て靴下、ヘアキャップ
- ペーパータオル・マスク

5-1. 新型コロナウイルス感染対策として法人としてどのようなことを実施していますか？

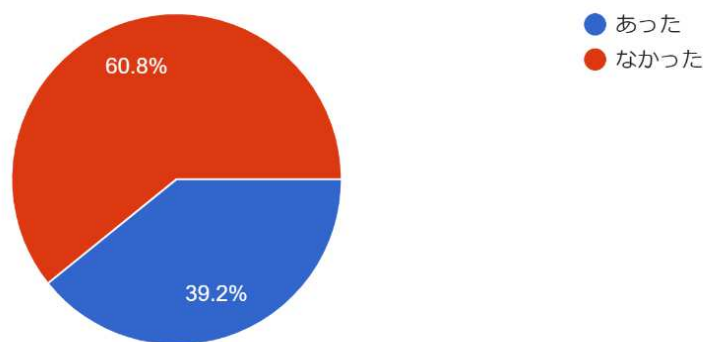


5-2. その他、法人としてどのようなことを実施していますか？

- 緊急事態宣言下のリモートワークや、事務所内の人数制限
- 毎日、朝夕の検温を全スタッフに徹底的に実施している。
- 密にならない、外出しない
- 空気清浄機の設置
- 事務所内の消毒、公用車の消毒
- 発熱者には抗原検査
- 衛生用品の定期配布。定期的な体調聞き取り。
- 換気の徹底
- 会議はWebで行っている。何度かマスクやアルコールの配給があった。
- 緊急事態宣言下のリモートワーク、事務所内の人数制限
- 事務所内の備品等、消毒の徹底
- 高熱が出て体調の悪い人にはPCR検査を受けてもらっている。
- エプロン着用
- オゾン、アクリル板の設置。利用者へのマスク着用のお願いの文書発行
- システムを活用した社内での発熱者の管理
- メンタル面でのフォロー
- 可能な職員の直行直帰

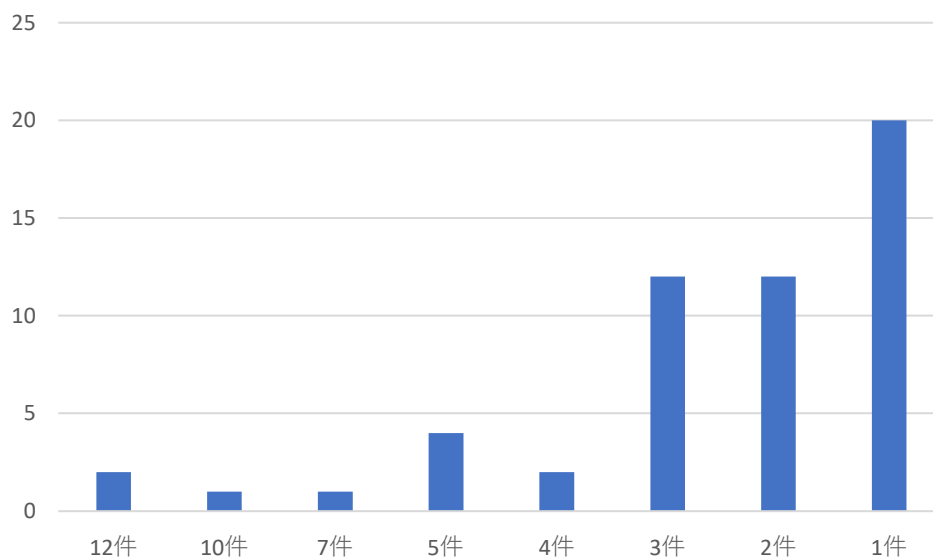
6-1.訪問した際に利用者が37.5度以上の発熱があり、対応したケースはありましたか？

176 件の回答



6-2.6-1で「あった」と回答された方は、その件数は何件でしたか？【単位：件】

57 件の回答



6-3.6-1で「あった」と回答された方は、その際にどのように対応しましたか？

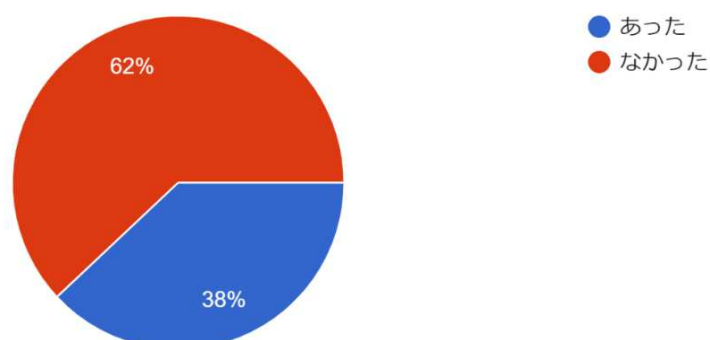
- 何度か検温し、訪問看護さんが入っていたので、連絡。家族様にも連絡して退室。
- ケアマネジャーへ電話、指示を仰ぐ
- ガウン対応
- ソーシャルディスタンスをとって活動(短時間で終了した事もあり)
- ケアマネに連絡。出来る範囲で利用者と距離をとり援助(当日)
- できる限りの非接触でのサービス、その後の利用者様の様子観察
- 感染対策をしてサービスを実施しました。
- いつも通りサービスし、ヘルパーは手洗いと消毒をいつも以上に念入りにした
- 予防着等、事業所の感染防止マニュアルに従い行いました。

- ケアマネジャーと訪問看護にTEL。コロナではなく救急搬送。
- 家族や医療・CMから報告あったうえでの対応治は防護服着用、必要な事のみ行い短縮にて連絡
ない時はすぐに退室し事務所対応、防護服着用必要な事のみ短縮にて行う
- PCR検査 ヘルパーはガウン・手袋・消毒・換気の徹底
- 連絡連絡家族と連絡をとり可能な場合は家族対応にてPCR検査を受けて頂いた
- 防護着、いつも以上に手洗い、うがい換気をしながらのケア、ひつ最低限のケアに変える
- 事業所に連絡し、上司の指示を仰ぎ、防護服着用し対応。
- フェイスシールド、マスク装着にて最短時間で
- フェイスシールド・マスク・ガウン・手袋・アルコールの実施
- 入浴介助のみ未実施
- かかりつけ医に連絡
- フェイスシールド・手袋着用 手洗いうがい
- 再度検温 水分補給
- 感染対策を強化しサービス実施
- 訪看に連絡。家族様に対応お願いする。
- 以前から、体温が高めの方の為。様子を見ながら実施した
- 救急車を要請（明らかに熱中症と思われたため）
- 接触を出来るだけ減らし、防護服を着用
- 体温他のバイタルチェック、室温の調整、ケアマネへの連絡等
- 本人の普段の体温の確認、現在の諸症状の確認。できる限り非接触で対応し、様子観察
を行う。翌日の体温の確認などを行う。発熱が続いている場合は、関係機関に連絡する。
- 防護服着用にてヘルプ提供、直行直帰の指示
- 換気、ゴーグル、使い捨てエプロン、手袋着用で対応
- 主治医に連絡
- マスク、手袋、換気を行い、ガウン着用、ゴーグル着用で対応
- クールダウン、主治医に相談
- 外出されていない方の為、再検などで対応
- 看護師さん呼び、明らかにコロナ以外での発熱であると看護師さんが判断された
- 訪看、往診医、（ケアマネ）に報告し、支持を仰ぐ
- かかりつけ医でPCR検査をしてもらった
- 発熱の原因がわかるまで、ガウン着用にてサービスを継続した。
- ガウン、ゴーグルなどの感染対策を強化して訪問
- 看護師に報告
- 往診ドクターに確認。コロナではなかったので、水分摂取、室温調節などで対応の指示あり
- 利用者からキャンセルの申し込みがありました。

- 訪問前に、ケアマネジャーより、尿路感染の為、熱があるとの連絡がありました。
- 訪問看護STに連絡「こもり熱」クーリングで平熱に戻る
- ケアマネジャー氏と相談の上対応
- 感染対策を行った上で対応をしました。
- コロナ対策をしてサービスを提供した。
- 関連事業所・家族に相談し短時間で必要な援助のみ行う
- いつも以上に手洗い手袋を使用し、マスクを二重にする
- 利用者様にお医者様に受診して頂けるようお願いした。コロナコールセンター、保健所に連絡
- 完全防護をし、サービスを継続した
- ヘルパーは退室させて頂き訪問看護、CMに電話連絡対応
- 熱の原因が他にあると家族からの報告あり
- CMと透析送り出しの方であった為CLに連絡。換気をしご本人、同室で過ごされている奥様にマスクをして頂く。自分は別室でCM、CLの指示に対応
- 感染対策し、どうしてもサービスのみのみ行った
- 発熱外来への受診
- マスク 手袋の対策 ソーシャルディスタンスを保つ
- あらかじめわかっていた方はPPE対応できたが、現場で訪問後に熱があると家族から言われた場合もあった。ヘルパーはマスク、グローブ着用していたので、利用者にもマスク着用促しオムツ交換して退室。
- ガウン・手袋2重 マスク着用
- マスク・手袋・ガウン・フェイスシールドを着用して対応。
- サービス提供後のアルコール消毒の徹底

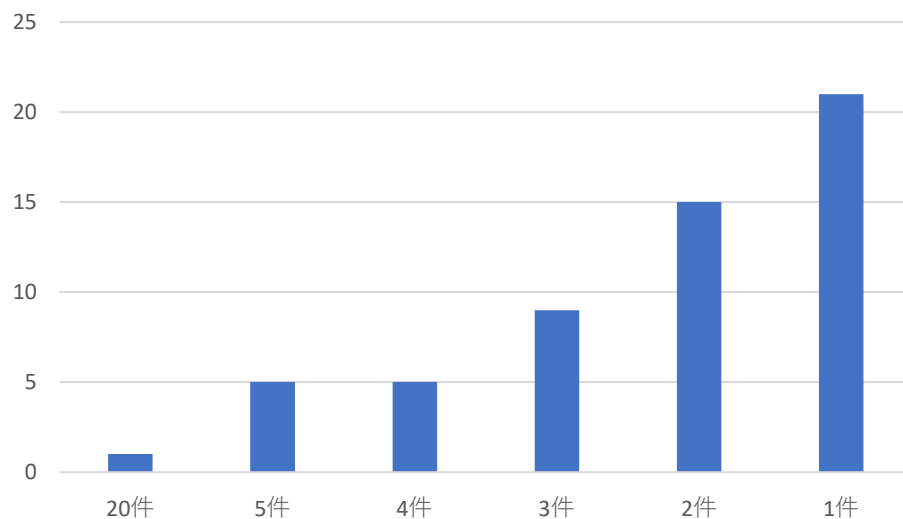
7-1.通所介護事業所の休止などに伴いサービス提供の依頼はありましたか？

171件の回答



7-2.7-1で「あった」と回答された方は、その件数は何件でしたか？【単位：件】

59件の回答

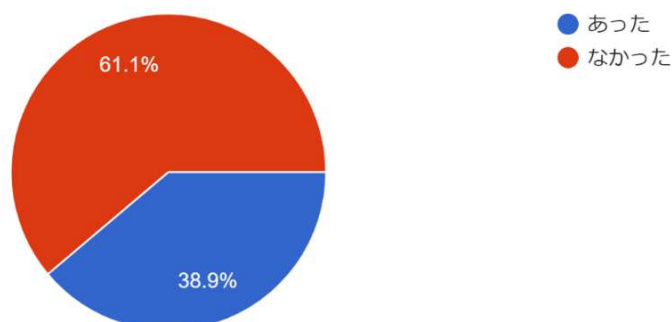


7-3.7-1で「あった」と回答された方は、その際にどのように対応しましたか？

- サービスは実施。
- 訪問介護サービスを行った
- 実施(入浴介助)
- 可能な限り調整しケアの協力をした
- 極力接触を減らし、防護服を着用
- 入浴介助
- 訪問介護サービスを行った。
- フル装備でサービスを行なった。
- 当事業所で訪問介護サービスで対応しました。
- ご依頼時間での対応できるスタッフが調整出来ずお断りした
- 利用者がコロナではなく濃厚感染接触者でもなかったため、通常対応した
- 入浴等のサービスの追加を行った

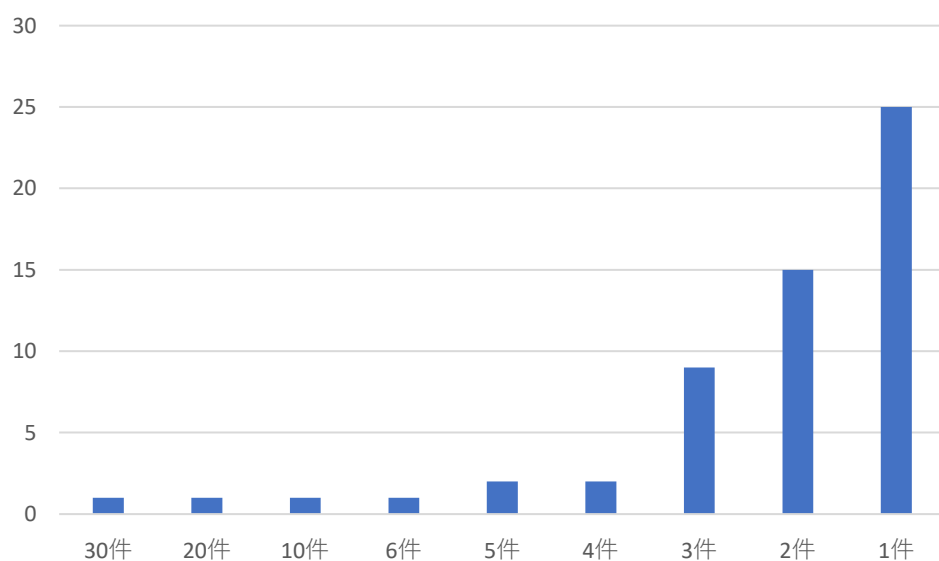
8-1.今年4月以降、新型コロナウイルスに関連してサービスが中止になったものがありましたか？

175件の回答



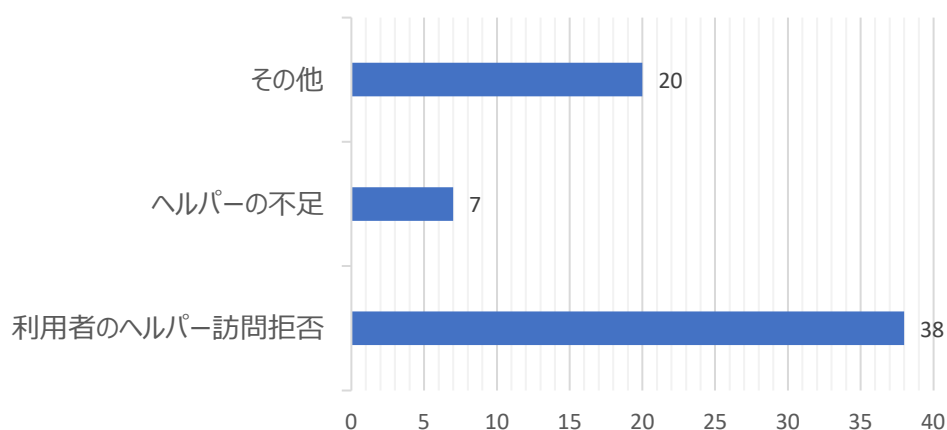
8-2.8-1で「あった」と回答された方は、その件数は何件でしたか？【単位：件】

59件の回答



8-3.8-1で「あった」と回答された方は、その理由

64件の回答



その他

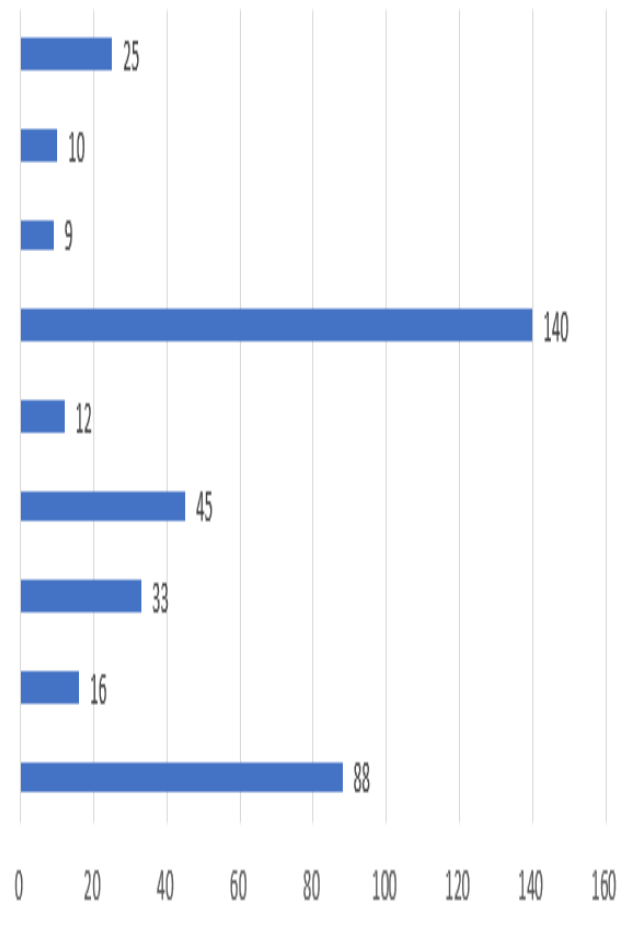
- 利用者様が濃厚接触者の可能性があった
- 利用者又は家族又は利用施設の職員等でコロナ陽性者が出たため。
- 利用者が、感染し、サービスが中止になった
- 利用者からのキャンセル
- デイをお休みするため。
- ご家族からの中止
- 利用者様都合で
- 利用者様が濃厚接触者になり、家族対応になった。マネージャーの指示
- 利用者家族がコロナ感染のため
- 利用者の家族が感染し、2週間程度、中止になった。

- 利用者が交代ヘルパーを希望しなかった
- ヘルパーがワクチン未接種の為
- 利用者のコロナ感染入院
- PCR検査待ち
- 近親者の発熱による活動休止
- 事業所からサービス中止とした
- ヘルパー自宅待機
- 利用者が陽性となり入院した為、ヘルパー中止となった。
- 利用者様の発熱の為

9.現在、訪問介護の事業を継続するために困っていることがありますか？（いくつでも）

173件の回答

- スタッフや家族に感染者が出て、通常の業務に支障を来している
- 利用者に感染者が出て、対応に苦慮している
- 従業員の家族が従業員に対して訪問を止めるように言うため通常の業務に支障をきたしている
- 訪問介護員（ヘルパー）の慢性的不足
- 新型コロナウイルスなどの感染症に十分な対策が取れない
- サービスに必要な物品が高騰し経費が増している
- 国、県、市などの助成金、支援金などの手続きが複雑で対応が困難
- 衛生材料の慢性的不足
- サービスの質の向上を目的としたスタッフ研修が十分にできない

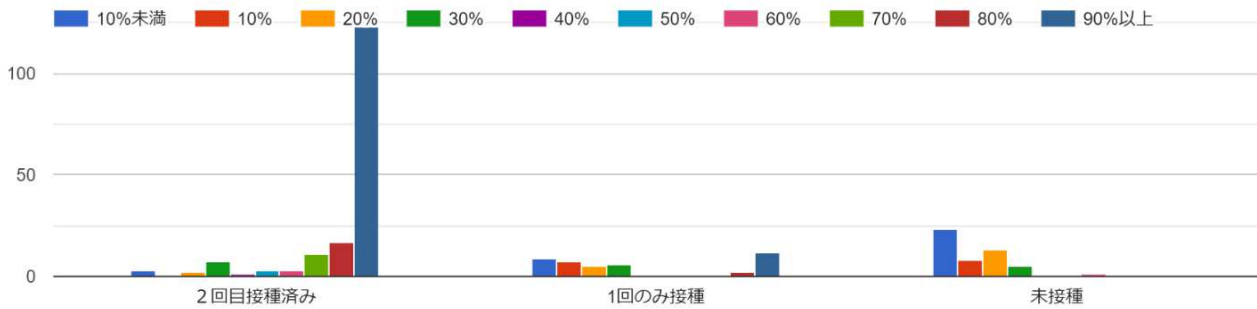


その他

- 運営における経費の増加に伴う減収
- 仕事がない
- コロナ関連で事業所としてやっておかないといけないこと等が増え、手一杯になっている。
- 利用者の数が減ったので運営が厳しい

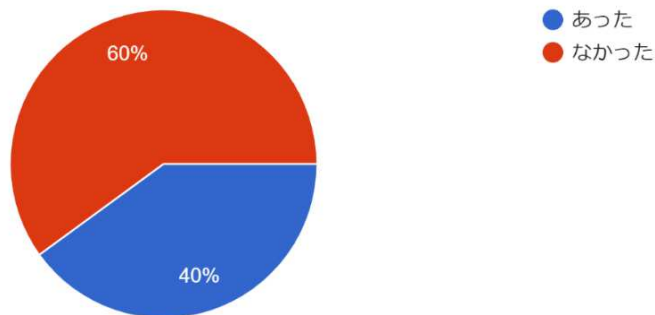
- スタッフが風邪をひいたら、陰性でも休みにしています
- 最低賃金は上昇の一途ですが、国の介護報酬は変わらないため、利益を生めない状況が続く現場は人材不足も
- 利用者宅で使用する手袋が値上がりの為、安価なものに変わり遣いにくいケースがある
- スタッフが風邪をひいたら、陰性でも休みにしています

10. 従業員の新型コロナワクチン接種率は何%位ですか？（一の位を四捨五入 例：15%→20%）



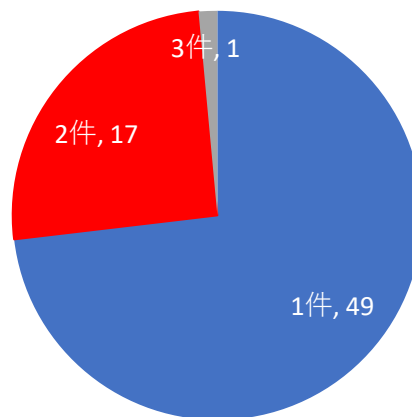
11-1. 家庭内感染で従業員が濃厚接触者として自宅待機を余儀なくされたケースはありますか？

175件の回答



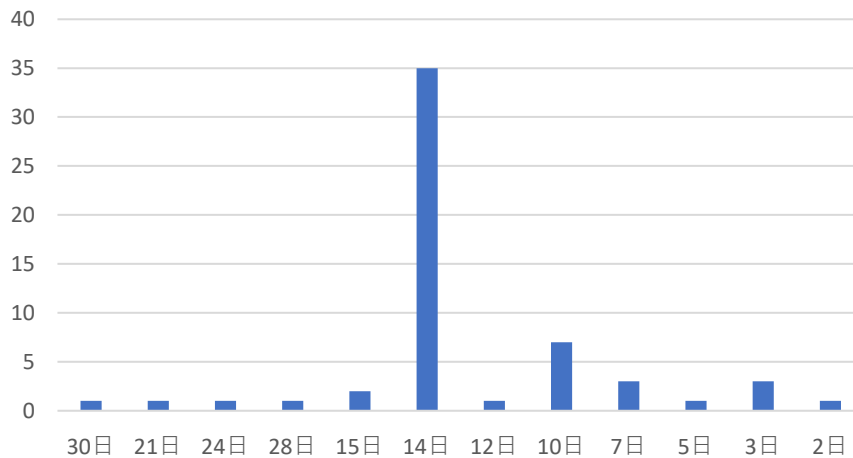
11-2-11-1で「あった」と回答された方は、その件数は何件でしたか？【単位：件】

67件の回答



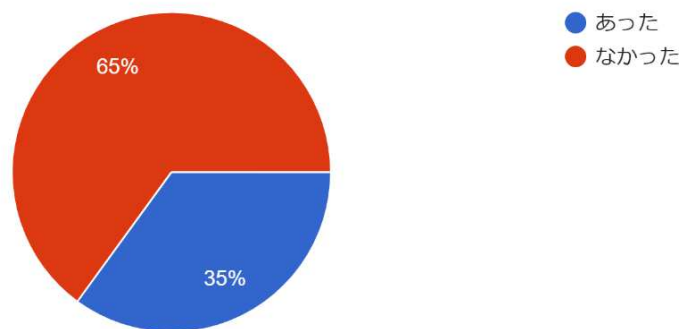
11-3.11-1で「あった」と回答された方は、そ...の時、何日間の待機を指示しましたか？【単位：日間】

63件の回答



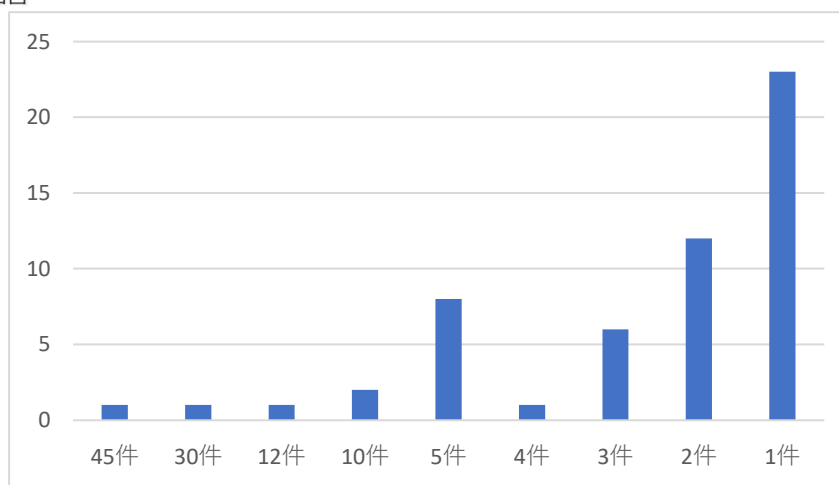
12-1. 利用者からヘルパーに対して「ワクチンを打っているか」と問われたり、事業所に対して「ワクチンを打っているヘルパーに来てほしい」などの依頼はありましたか？

177件の回答



12-2.12-1で「あった」と回答された方は、その件数は何件でしたか？【単位：件】

57件の回答



12-3.12-1で「あった」と回答された方で具体的困った事例などあればご記入下さい。

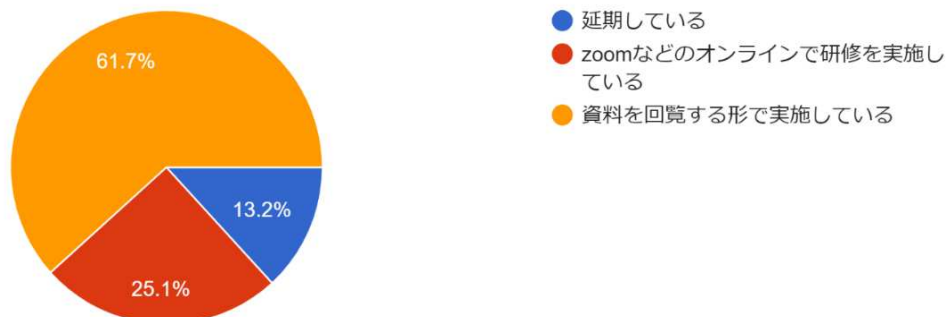
- ヘルパーさんにワクチン早く打たせて。といわれたり、ワクチンを打ったヘルパーは何かがあるからきてもらったら困る。ファイザーだったらわたしにアレルギーが起こる。と言われた。
- ワクチン不足の為、時期が遅れた
- 介護職なら接種して当たり前だという認識の利用者や関係者からの言葉にスタッフが嫌な思いをしてしまうが、安全確認されていないワクチンで接種は個人の自由判断であることを説明すべきか判断に迷う。また接種済みスタッフを希望された場合にはサービス提供を断らなければならない(任意接種のワクチンがスタッフの仕事に影響を与えるのは許されないため)。
- 未接種の場合は不安に感じられる方がいた。
- 対応してる職員はワクチンを打っていたので特になし。
- ワクチン接種済みのヘルパーかどうか確認された
- ヘルパーが休む際に「まさかコロナではないだろうな」などと言われた事があった
- ワクチン接種の証明書提出を求められた
- ヘルパーだから当然接種、それも医療従事者と同時期に接種できていると理解されている。たまたま若いスタッフが少ないため早めに接種できたが、問い合わせのあった方は、接種していないなら来ないでほしいと言われた。
- 新規依頼の時に事業所ヘルパーの接種がどれぐらいの人数で終わっているか、接種済のヘルパー派遣が必須
- 2回接種のヘルパーに来てほしい。利用者様もワクチンを2回接種後にサービス開始といわれた。
- 入浴介助の利用者さまからワクチンを接種するまで訪問拒否される。
- ワクチンが足りないので予約がキャンセルになったヘルパーに対して利用者様が～の病院ならすぐ打ってくれるから電話しなさいと何度もしつこく言われ、ヘルパーがその病院に電話で問い合わせするもワクチンが足りないので出来ませんと言われた。そのことを利用者様に説明してもなかなか納得してくださらず、「あなたは普段から元気だから、バイ菌が吹っ飛んでいくわよ！」と言われた。
- 全員2回接種済で問題なかった。
- ワクチンを打って来ないと困る
- アレルギーなどの問題があり、ワクチン接種をしないヘルパーがいる。そのヘルパーが担当している利用者のうち1名が「ワクチンを打っていないヘルパーが来るのが怖い」とおっしゃり、サービス終了となった。
- 毎回、ワクチンを打ったか聞いてくる。ワクチンを打ってない人だから、打ち終わった人に来て欲しい。無理なら、しばらく休んでもらっても良いと言われる件あり。→家族に話す。
- ワクチン接種の確認は何名かに問われることがありました。
- 世間話をしていて、流れで聞かれる事あり。
- ワクチン接種の有無を問われるケースは多々あります
- 利用者がワクチンを拒否され、現在も未接種だがデイサービスへは、週2回通所している。2/Wの訪問ヘルパーに、『コロナになったら、ヘルパーの責任』と言われてっていると報告を受けていた。但し、別件理由で2ヶ月程STOP中！

●不安で聞かれる利用者が居ました。

13.

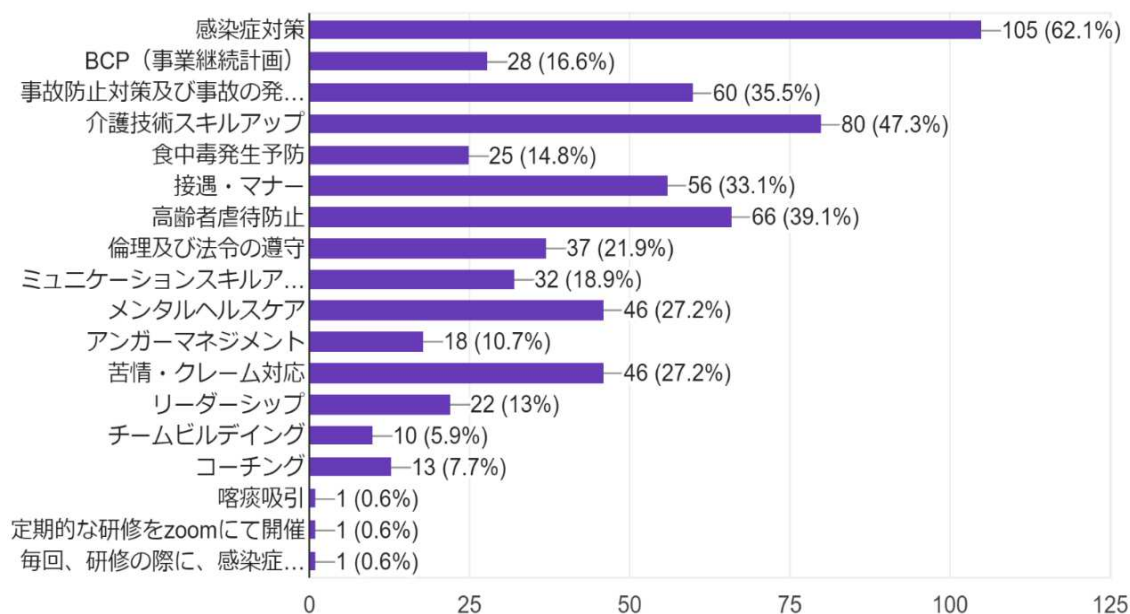
法的に定められている研修やサービスの質の向上に...ながる研修は現在どのように実施していますか？

167 件の回答



14. コロナ禍の状況ですが、実施したい研修はありますか？（いくつでも）

169 件の回答



15. 今後もオンライン研修会を検討しておりますが、オンラインミーティングアプリ「zoom」はインストールしていますか？

172 件の回答



16. 緊急事態宣言下において、不安に思うこと、危惧していることがあればご記入下さい。

- 研修会や、申し送りは、電話やSNSなどで個別に伝達できるが、ヘルパー同士、事業所に来てコミュニケーションを取ることができず、もちろん、昼食時も離れて黙食、宴会も禁止。ストレスがたまっているのではないかと心配している。
- 人員が不足して、活動に支障がでる事
- 効果が不透明
- 従業員の感染による 人手不足に陥る
- 県や市から、緊急事態宣言が解除された後も、介護職にのみ自粛などを理不尽に要求されること
- 居宅介護支援事業所を含めた各事業所のコロナ対策に対する危機感の温度差。
- スタッフの安全を守りつつ訪問する事の難しさ。病院等医療面の対応を強化してほしい。
- 身近での感染者発生
- ヘルパー不足
- 従業員のストレス
- 自分がかかってお客様にうつしたら…と日々恐怖
- 行動について制限があるためストレスになっている
- 利用者と同居している孫がコロナになり、利用者が濃厚接触者となったが、高齢の為PCR検査もできず1週間様子を見るという事例がありました。ワクチン接種もしたし発熱もないとのことで訪問サービスを復活したが、ヘルパーは不安で行ってくれる人を探すのが大変でした。今後もこういう事例はありそうどう対応すべきか考えてほしいです。
- 人によりとらえ方が違うため対策や対応に個人差がある。対応の方法について発信、お願いしていても自己都合で自己流にしている事が後に発覚することがあり、事業所として決定した事が行われていないことがあるかもしれない。
- 慢性的にスタッフが不足している中、発熱などの体調不良者が出た場合のスタッフの確保が難しい
- 感染拡大が不安
- コロナに感染したら会社運営が困難になるので、利用者に迷惑を掛ける事。また、社員に対しての補償などが不安。
- 感染力の強さで職員がみんなピリピリしています 地域からの情報も少ないので不安です
- 従業員数が感染した時の人材不足
- 利用者様の感染を案じています
- 利用者減少に伴い固定経費負担になる 売上減少に伴い固定経費負担になる
- 同居されている家族などがいる場合、自分が持っていけないか、同居の家族、利用者は大丈夫かと常に不安に思う
- 利用者やヘルパー、ヘルパーの同居家族が感染すること
- いつまで続くのか？
- 今のところありません。

- 従業員が感染したらと思うと常に不安。また利用者さんについてしまったらと思うと不安。関係者が感染しないことを常に願っています。
- 従業員やその家族にコロナ陽性や濃厚接触者が出た場合のヘルパー不足により対応ができない。
- もし、スタッフやご利用者様に陽性者が出たときの事業所として、しっかり対応できるかが、とても不安。
- ご家族が感染した場合でも訪問しなければいけない。ワクチン接種は終わっており、予防着を着用し業務をしているが、やはり感染に対し不安がある。
- 緊急事態宣言下ではあまり外出されず、自宅で過ごされる利用者様も解除になったら外出されたり、遠出もされる方がいます。解除になった方が行動範囲が広がり不安です。
- 外出、面会自粛の為認知症の進行、ADLの低下 ご入居契約の妨げになっている
- 移らない、移さない、をしながらサービスしているので、移してしまったらと思う不安はあります。
- 緊急事態宣言下でも訪問介護サービスは何も変わらず、仕事に出ています。何も変わる事はありません。家族から大丈夫なのと言われいつも現場に出ています。本当に大丈夫なのか毎日介護員は自問自答をしています。
- 濃厚接触者で自宅待機となったが、他のサービスは中止でもヘルパーのみ利用される事が多い。私達が媒介となってしまうか不安はあった。
- 感染者(ヘルパー)が出たときのサービスの調整について不安です。(他事業所のフォローはしたことがありますが、自事業所活動の活動を他事業所に依頼したことがないため)
- 宣言期間が長いこともあり、利用者の方の行動制限がなくなってきたが、利用者は自分が感染源になるという意識のない人が大半である。ワクチン接種に対して、過大な安心感がある。
- 人々の不安が増大することで、スタッフが退職したり、休んだりすることは事業の存続そのものにかかわるので非常に不安です。今回一連の国の対策をみていると「介護」はエッセンシャルワークといいながら、ワクチン接種を含めて常に後回しなのでそれも不安です。
- 常に感染対策を取っているので特にありません。
- 従業員やその家族の発症による出勤停止 人員不足 利用者の感染
- いつまで続くのか不安
- 従業員全員がワクチン接種は済んでおりますが、それでも万が一、件数のたくさん対応しているヘルパーや常勤が感染すると回らなくなります。どこで感染するかわからないので不安です。
- コロナ陽性で自宅療養でヘルパー依頼より まず家族で対応するべき
- 職員が重なってコロナに感染してしまうと大変なことになってしまう不安が常にあります。各職員もそれぞれ気を付けるよう指導しています。
- 緊急事態宣言も解除になり、行動範囲も広がるとスタッフや利用者のコロナ感染が心配ですが、手洗い、マスクの徹底を行い冬の流行時期に備えるようにしたいと思います
- 感染拡大にならに事を願うばかりです。
- 訪問介護員に対し、アルコールを吹きかける行為など実際ありました。ヘルパーも訪問サービスについて不安を抱いており、さらに人員不足になる可能性がある

- 通勤に公共交通機関を利用しているスタッフが心配。他でも心配。自分がきちんと対応していてもワクチンを2回接種していても感染してしまうので防ぎようがない。運を天にまかせるのか。コロナに負けない身体づくりを目指すしかない。
- 現在解除されているが、この状況がいつまで続くのか不安
- 何時迄 この様な状態が続くのかと従業員の不安が大きい
- 昨年11月職員の家族が感染し職員（ヘルパー）が濃厚接触者となりPCR検査結果でるまで、又、出ても2週間の自宅待機で、その2週間事業所内は大変でした。ヘルパー不足で、一人でもそうなると利用者さんに迷惑がかかる。かからないようになんとか対応できたが、訪問介護事業所は最後の砦でもあるのに、ワクチンにしても後回し、とても軽くみられている。新型インフルの時も思ったが、訪問介護員は、まるで特攻隊のようだ。
- 10/4現在、宣言は明けましたが、次の感染拡大が心配です
- ワクチン接種を拒まれる利用者様に対する不安があり。こちらは充分気を付けてはいるのですが、個人的意思の尊重もあり悩むところです。
- 利用者の外出自粛等によりADLの低下
- 少ないヘルパーの中で、ヘルパー自身、もしくは家族が感染した時、訪問事態に支障が出たり（曜日変更、時間変更等）休んでいるヘルパーの訪問を他のヘルパーがフォローし続ける事で、訪問以外の業務にも支障がでる。
- 利用者の家族が感染予防を十分行っていない
- 一人暮らしの高齢者（利用者）宅へ訪問する際、特に体調の事などが心配。ヘルパーが感染してしまわないか、もしもの時の対応がすぐにできないのではないか。
- 家庭内感染が広がり、職員が濃厚接触者になり、休みを取ることでスタッフ不足が心配。
- 利用者宅での新型コロナウイルスの家族での感染
- 事業所職員がコロナに感染してしまったら、日々のサービス提供が、滞ってしまう。人員不足の為。

17. 新型コロナウイルス対策について、疑問な点があればご記入下さい。 ※11/10に感染症対策研修会を予定しており、その中で保健所担当課長より、ご回答いただく予定にしています。）

- 訪問介護が後回しになっている
- 保健所からの連絡や訪問がないと仰っているかたがいました。対応は十分に出来ているのでしょうか？
また、出来ていないのであれば、いつまでに改善するのかと今後についての具体案を教えてください。
- 待機期間について、保険所からの指示がケースにより違うので、違いについて教えてほしい
- 現状のままでよいのか
- 事業所内部のメンバーが感染した場合現状の対策(最新)を教えてください
- 施設ではなく、訪問系の介護員にもコロナの検査キット等の支給はありますか？
- マスクの装着、うがい、手洗い、手指消毒の徹底、管内の消毒空気の入替え等実施しているが、外部訪問者の衣類持ち物などの消毒はした方がよいのか？

- 衛生用品の配布をもっとして頂きたい 利用者宅訪問中にお互いにマスクを着用していれば、濃厚接触者ではないと保健所は判断されていますが、本当に大丈夫ですか
- ワクチン接種後の行動規制
- 終息が全くみえない事 世間とのずれ
- 手洗い、うがい、検温、ワクチン接種、外出の自粛が良いのでしょうか
- 対策ではありませんが、濃厚接触者となった場合の待機期間がまちまちのように思いました。
- 現在の感染理由のパーセンテージ(内訳)を知りたい。訪問介護員はいつまで自粛しなければならないのか？
- コロナワクチンを2回接種できていれば、インフルエンザワクチンの接種は必要でしょうか。インフルエンザの感染者が減っているのでインフルエンザワクチンでも副反応で体に負担をかけたくないスタッフもいるとは思いますが、どう考えていますか。
- 家庭内感染が起きた場合、10日間の隔離明けのPCR(ご本人)がない事は分かっていますが、家族のPCR検査の案内などがあれば少し不安も減ると思います。
- ワクチン接種会場において障がい者(視力障がい者、車いす対応の方)に対応できるスタッフが少なかったように思う。受付も別にしてあげた方が、焦らすことなくできたのではないか。
- 在宅利用者は、移動困難な方が多く予防接種がうけられないかたがいる。往診でも接種できるようになるといいと思う。
- 一度、感染した人が再度感染するリスクはどれくらいありますか？また同じ株に感染する場合と別の株に再度感染する場合などを教えて下さい。けあの提供する場面として、入浴時に利用者がマスクを外す場面がありますがその場合、介助者はマスクのみ どのくらいの感染予防効果がありますか？
- 他のウイルスの感染対策とコロナウイルス感染症対策の違いはありますか？
- 高齢者の方に、訪問時マスク着用をお願いしても拒否される方も多く、又同じマスクを何度も使っている方もおられ、少し対応に難しい時がある。
- 三回目のワクチン接種について、利用者や職員のスケジュールは、どのようになっているのかを知りたいと思います。
- 新型コロナウイルスが感染した事業所、施設等の公表
- 新型コロナウイルスワクチン接種後の抗体の減少率には、個人差は、ありますが、毎年ワクチン接種は必要になってきますか？ また、基礎疾患等で、ワクチン接種が出来ない人々の差別があったり、虐げられたり、肩身の狭い思いがするような世の中にはなってほしくない。

18. その他 新型コロナウイルス対策含め、行政に対してご意見、ご要望などがあれば自由にご記入下さい。

- みんなで研修会や毎月のヘルパー会議といわれても、集まることもできず、ヘルパーが高齢化でモバイルが使えない。集まるな。といっているのに、実地指導の要綱には入っていて、頭がいたい。きちんと必要事項は、事務所が中心となって伝達し、利用者の不利益にならないように最大限、行っています！とお伝えください。

- 家族が担う事と公的な介護が担う事の基準を示して欲しい
- 若いヘルパーの接種を早く進めて欲しい。
- 私自身 コロナ対策や従業員の健康管理等で 精神的な落ち込みがあり かなりしんどい状態が続いています。
- 感染拡大の初期なら仕方がないが、2年目ともなると致死率などに合わせて対応を検討してほしい。生活保護の方からも医療費や介護保険利用料を1割は支払っていただくなど応益負担をもっと真剣に検討してほしい。
- 補助金の追加を希望
- 担当者会議などの集まって行う事に対しての規制緩和 コロナ対策で義務付けられたものに対しての加算付与
- 担当者会議などの集団で訪問するものに対しての規制緩和 コロナ対策の義務付けに対しての加算付与
- 発熱、症状が出たときに素早く抗体(源検査が可能な体制づくり)
- 利用者様の通院送迎の介護車両が不足。又は老朽化の為、通院介助の依頼を断ることがある。介護車両の助成及び寄付をお願いしたい
- コロナウイルス陽性の方の自宅療養をなくせる様、療養施設などの充足をお願い致します。
- 助成金・支援金を今年度も検討してほしい
- 症状がなくても、PCR検査を手軽に(安価で)できるようにしてほしい。知らずに濃厚接触者となってしまったヘルパーがいたが、PCR検査が受けられず、個人で検査キットを売っている店を探してようやく手に入れ検査したことがあった。
- 介護の中で訪問介護が一番最後に対応されている様に感じます。
- 濃厚接触か否かの返答が遅すぎる。(それまでヘルパーを待機させているため)
- ご利用者様に陽性者が出て、基本、感染対策をしっかりとこない、サービス提供実施するように言われているが、正直難しい。幸い今まではそのようなことになっていないが、スタッフにも皆、自分の家族がいる中で陽性者の利用者様にサービス提供実施をすすんでしてくれるスタッフはいない。ご家族もとめると思う。かといってサ責常勤がそのお宅に行くのも抵抗があり、どうすればよいか悩んでしまう。
- 処遇改善手当が末端の従業員にまで支給されているかどうか不明瞭なので、国自治体からいくら出ていて、会社はどれだけ従業員に支給しているかを分かるようにしてほしい。10年近く前から収入に変化がないのはおかしいと思う。処遇改善されていません。いつまでも低賃金です。処遇改善という名目で会社に一旦入ったものを会社が勝手に運用できるシステムはおかしいと思う。他業種と比べ、賃金が低いので採用も難しいです。先細りの仕事としか思えず、やりがいを持ってなくなります。
- 職員が不安に感じたとき等、PCR検査に行きたいが高すぎるため難しい 発熱してからでは遅いと思うし、発熱しない場合もある様なので。

- スタッフの休みにより、キャンセルとなるが増えているが、計画書や請求をどう扱うか 指針を示して欲しい
- 空き室の見学あり、入居を決定する際、コロナ禍とのことで、ご家族様との面会自粛や外出、外泊を控えて頂くようお願いすると見合わせるケースが多く、ご入居契約の妨げになっている
- ワクチン接種に関して、一番水際でサービスを行っている訪問介護には優先枠がなかったこと、デイサービスやショートステイ利用時に発熱等、体調不良の為利用できず、在宅させる利用者に対し、訪問介護で対応しなければいけないことに矛盾を感じます
- 日々、家族も家にいる中、不安と戦いながら業務しています。コロナ慰労金など出して欲しい。
- 介護員はコロナ禍でも関係なく仕事に現場に出ています。医療従事者ばかり優遇されるのではなく、毎月でも給付金などの支給があればやめるヘルパーも少なくなると思う。何より仕事に対するモチベーションが上がる。危険な現場で仕事をしている介護員の事をもっと考えて欲しい。
- 現在は改善されているかもしれませんが、土曜日に利用者が濃厚接触者となったと知らされ、ヘルパー援助のみ、利用される事になったが、対応について保健所に相談しても、担当者さんとながりにくかった。
- 3回目のワクチン接種について、時期や優先度はどのような見込みか教えて頂きたい 在宅の訪問介護員は優先的接種対象となっていないのか、なぜ、施設系通所系職員とは別枠なのか、不条理に感じます
- 国がやっていること(特に4月の改定内容)を現場の状況にはもはや埋めきれないぐらいのギャップが出ています。慢性的に人材不足なのに「やるべき仕事」は増える一方なのに「支援」があまりにも少なく感じます。去年マスクがなかった時、兵庫県に電話しても神戸市に電話しても何の支援も得られないばかりか県と市でたらい回しにされたのには驚きました。これから2025年を迎え介護は崩壊に近づいている気がします。
- ヘルパーの慢性的不足(年来の若い人が少ない) です。在宅生活を支える重要な役割を担っています。もっとアピールして下さい。
- いつまで従事者に我慢をさせるのか 世間との認識のずれ もっと対策を徹底してほしい 従事者にも我慢を押し付けている感じがする そして発症すると集中的に攻められる何とかしてほしい
- 厳しい状況下の中で、ヘルパー皆でがんばっていますが、人材も不足していて休みがとりにくかったり精神的負担が大きいです。処遇改善をもっとして頂き働いてみようかと思ってくれる職業にして欲しいです。働いてみるととてもやりがいのある良い仕事と思う方も少なくないと思います。
- 医療現場だけではなく、介護現場も感染リスクが高いので職員が安心してはたれける様な補助・手当を行政として行って欲しい。
- 隔離される場合(ホテルなど)と家で隔離の判断の分かれ目は何でしょうか
- コロナ対策に経費がかかるので事業所に対してももう少し支援して頂きたいです
- 入居施設では職員に定期的にPCR検査を実施していただくのは当然ですが、訪問介護等、訪問系にもPCR検査を実施して欲しいと思います。無症状の感染もある事ですので、自分達がウイルスを運んでしまわないか、とても気になります。

- 金銭的にも精神的にも仕事がしにくくなっています。もっと介護の仕事をしやすい環境にして下さい。私たちが見ているのは書類ではなく人です。人の為に仕事をしたいです。
- 介護報酬0.1%上乘せ分を9月いっぱい打ち切らないで欲しい。
- イベントなどあり、なしをもっとはっきりさせて欲しい。参加するのに、2回接種済証のコピー等がいるとか聞いているが見せたくない個人情報と拒否する人もいる。それによって逆にいじめを受けるかもしれない。
- アルコール・グローブ等配布して頂きとても助かってます。ありがとうございます。ただ、グローブがポリエチレン手袋なので使用できない使用できない時があります。できればビニール極薄手袋も欲しいです。申し訳ございません。
- 申請や手続き等、もっと簡単にして欲しい。ヘルパー不足でもあるし利用者も減っている。利用者が減っているのは、2割、3割と負担が影響していると思う。真面目にやっている事業所は赤字。
- 利用者様や職員に陽性者が出た場合、接触した者のPCR検査を行いました。検体採取にかかる手間や、キット代など負担が大変でした。サービスを滞りなく継続するために関係者の検査について助けて欲しいと思いました。
- 事業所等で陽性者や濃厚接触者が出た場合の行政での検査体制について発症者が多発して対応に苦慮されているとは思いますが、なるべく早急に検査が可能な体制づくりをお願いしたいと思います。無症状者も多く、不安な中で仕事することがすれすにつながったりするのが離職につながることもあるかと思われます。宜しくお願い致します。
- 三回目のワクチン接種が、もしあるのであれば出来れば独居の高齢者等は行政から予約日を設定して頂ければと思います。体温計も初期の頃は、水銀を使用されている方もいたので体温計の無料配布も考えて下さればと思う。
- 施設内でクラスターが発生した際の、行政による人的又は、物的支援の拡充をお願いしたいです。
- 治療薬の開発が進み、1日でも早く、コロナが収束することを望んでいる。コロナの影響で、世界中が沈んでいるように思われ、脱コロナで、多くの人々の心（気持ちも）経済も活力を取り戻したい。

以上